

メンタル不調者の復職をサポート

リワークプログラムが話題に

ストレス社会と言われて久しく、メンタルヘルスの不調により休職を余儀なくされた人を抱える企業数は全国で増加傾向だ。厚生労働省の調査によると、1カ月以上の休職者が発生した企業が全国で約1割あるとされている中で、それらの人に対する職場復帰支援プログラム「リワーク」が注目されている。

福山初リワーク専門機関 ウエルビー福山三之丸C

福山では、5月に地域初のリワーク専門機関「ウエルビー福山三之丸センター」（福山市三之丸町10-18・山陽第1ビル5階、三尾博センター長、電084・999・2801）が開所した。障害のある人の一般就労を目指す就労移行支援などを行う障害者福祉事業のウエルビー（株）（本社・東京都中央区銀座）が営む全国で展開する112カ所のセンターの一つ。ウエルビーは就労移行支援の相談者の8割が適応障害や双極性障害、うつ病などの精神疾患ということから、リワーク

支援事業に着目し、参入している。本業の就労移行支援のノウハウを生かし、各種心理学に基づく復職プログラムによって休職に至った原因を振り返り、対策を検討、復職後に生かすことができる行動の習得までを目指す。

再休職の予防はもちろん、スキルアップをして自信を持って復職し、希望を持って長く働くことを重視し、セルフケア、コミュニケーション、人生アレンジメントなどを学ぶ。

プログラム実施までの流れは、病気の発症から問い合わせをし、主治医・産業医に、利用の可否の判断を受けて、センターへの通所



三尾センター長

が開始する。6〜12カ月（最短3カ月もあり）のプログラムを受講し、医師や企業側と総合的に判断してから復職へつなげる。

また、対象者と企業側の両方をサポートすることも大きな特徴だ。復職後も企業への定期訪問、本人との定期面接を通じた「定着支援」を最大3年6カ月間行う。本人の不安を解消するだけでなく、復職を受け入れる企業にとっても安心して雇用を続けることができるメリットがある。復職率が1年以上定着した定着率は、90.1%と、業界トップクラスだという。同じ職

場への復職が難しかった場合は、就労移行支援を行い、転職のサポートも行う。センター長には、前職で介護施設の総務人事や障害者雇用、メンタル不調者の対応を長年担当してきたという三尾博氏（50）が就任。「メンタル不調の原因は様々です。プライベートが原因の場合の不調でもサポートいたします。また、企業様におかれましては、当センターを活用してのサポート体制をしっかりと従業員様に伝えていただくことで、安心につながっていただければ」と話している。

リワークフォーラムを開催 全国から約230人が参加

福山三之丸センターはウエルビー初のリワークをメインに行うセンターとして機能する。スタートを記念し、6月12日にはウエルビー関係者や利用者などが参加する同社初のリワークフォーラムを、福山市の「まなびの館ローズコム」で開催した。産業医や、企業の心理士、就労支援などの視点から、



森川隆司氏（左）と中條克己氏（右）

シャルワークス（株）（東京都豊島区）次長・中垣麻理子氏、ウエルビー福山三之丸センター・三尾センター長が、再休職者を出さない健康管理のために企業側と本人側ができること、仕組化などを解説した。

講演後は森川氏と中條氏によるパネルディスカッションを実施。休職者への声掛けの内容・頻度、欠勤が続いている従業員への休職・受診の勧め方など、聴講者の質問に答える形式で行われた。

連絡の回数と休職直後の「頑張れ」という言葉は控えること、普通に接することの重要性などを話した。休職と受診の勧め方に関しては、勤怠ルール順守も仕事の内だということや制度の存在を冷静に伝えることなどの例が出された。

メディカルアシストによる 復帰・アプローチセミナー

同フォーラム登壇者の一人、メディカルアシスト（岡山市北区中山下1-11-15・新田第1ビル402、電080・5059・3646）



中條代表（66）は、現在、休職者を抱える企業の人事担当者を対象に、復帰アプローチセミナー「休職者が6カ月で完全復帰できる『仕組み化』とは」を、無料（通常2万円）で行っている。清水市出身の中條氏は関東を中心に精神科医として20数年研鑽を積み、2013年に岡山に移住し、産業医として地元労働衛生機関で10年活躍した後、独立。岡山大学疫学・衛生学准教授の高尾総司氏が提唱するメンタルヘルスマネジメントを基に、休職開始時から産業医が関わることの重要性を説いている中條氏は、復帰までのロードマップと進捗状況を確認する各書式を復帰基準について十分に理解させて、自然療法の観点から「如何に効率的に回復するか？」という生活指導

再発防止策のための課題解決を指導している。セミナーの日程は問い合わせに準じ別途相談し、オンラインで開催。セミナー終了後は、講師による個別相談を行う。企業訪問やワークスペースでのセミナー開催の相談にも乗り、PDF資料と仕組書集の無料提供も行う。

記者の視点

近年、メンタルヘルスに関する情報が充実してきたことから、理解は広がってきたようだが、不調を抱える人に対してはまだ「甘えでは」と誤解する人が多い。真面目で責任感が強い人ほど限界まで自分を追い込むため、不調に陥りやすいとも言われている。リワークサポート体制を整えると同時に、経営者がメンタルヘルスについて自分なりに学び、理解することで、従業員との信頼関係と予防につながるのではないかと考える。

Webでラジオはネットで聴く時代! アプリで

ホームページでお聞きいただけます!
エフエムふくやま 検索

今すぐ聴く
FMふくやま
サイマルラジオ

77.7MHz
RADIO BINGO

無料アプリ Radimo
今すぐスマホでダウンロード!

株式会社 エフエムふくやま 広島県福山市西町2-10-1 福山商工会議所ビル1F ☎084-920-8777

株式会社 ビーシーシー 三菱電機グループの情報システムサービス企業

事業内容

- ICTを活用したシステムインテグレーションの提供・導入・保守
- パッケージソフト、コンピュータハードウェアの提供・導入・保守
- 製品組込ソフトウェア、アプリケーションの開発
- エネルギー管理システムの開発・導入
- ITインフラ（ネットワーク、セキュリティ、遠隔監視）の設計・構築・導入・保守
- 自社データセンターを活用したクラウドサービスの提供

高品質な情報システムのご提供や
ソフトウェアの開発を行っています

〒720-0814 福山市光南町三丁目6番10号
TEL (084) 921-2477 (代) FAX (084) 921-7649
https://www.bcc.co.jp